

氏名： 岸本 美緒 (KISHIMOTO Mio)
所属： 人間文化創成科学研究科文化科学系
職名： 教授
学位： 文学修士
専門分野： 東洋史
E-mail： kishimoto.mio@ocha.ac.jp

◆研究キーワード / Keywords

明清史／市場／契約／身分／近世
Ming-Qing history / market / contract / social status / early modern

◆主要業績

総数 (4) 件

- ・「明代的応考資格与身分感覚」黄寛重主編『基調与変奏』1、国立政治大学歴史学系他、2008年、257-281頁。
- ・「動乱と自治—日中歴史イメージの交錯」村井章介編『人のつながりの中世』山川出版社、2008年、214-238頁。
- ・"New Studies on Statecraft in Mid- and Late-Qing Intellectuals and their debates on Economic Policies," in *International Journal of Asian Studies*, Vol.6, No.1, 2009, pp.87-102.
- ・「明清契約文書研究の動向—1990年代以降を中心に」大島立子編『前近代中国の法と社会—成果と課題』東洋文庫、2009年、3-22頁。

◆研究内容 / Research Pursuits

2008年度は、文部科学省科学研究費基盤研究(B)「身分感覚の比較史的研究」の初年度であったこともあり、身分関係の研究を中心に行った。2007年に台湾の学会で行った報告「明代的応考資格与身分感覚」が出版されたほか、関連の社会史関係では、日本と中国の社会团体研究を史学史的に評論した「動乱と自治」を出版した。経済史関係では、清朝の経済政策に関して近年アメリカで出版された2冊の著書について英文書評を出版し、また明清史研究合宿(2008年8月、出雲市)において明清時代の銀流通と市場構造に関する報告を行った。民事法関係では、東洋文庫での共同研究の成果として、近年の明清契約文書研究に関する動向論文を発表した。

◆教育内容 / Educational Pursuits

学部では、東洋史概説、東洋史講読のほか、特殊講義と演習を担当した。特殊講義では、「中国の社会メタファー」と題し、伝統中国の人々自身が自らの社会をどのようなメタファーを用いて捉えていたのか、及び外国人がどのようなメタファーを用いて中国社会を捉えたのか、を論じた。演習では、前期は顧炎武の『日知録』、後期は林耀華の *The Golden Wing* を講読した。

大学院では、演習を担当し、出席者による研究報告や書評及び討論を通じて、アジア史研究の方法を考究した。

◆研究計画

科学研究費などの共同研究にいくつか参加しているので、当面それらに即して研究を行う。

◆メッセージ

歴史学の面白さは、人間社会の多様なあり方に触れて「こんな社会もあるんだ」と驚くこと、そして、自分の目で史料を読み、自分の頭で考えることを通じ、そうした社会を単に異様な社会としてではなく人間の生きる一つのあり方として感じ取ること、にあると思います。それは皆さんが今後、広い世界で様々なことに興味をもって生きていく上で、きっと役に立つ訓練となるでしょう。